



ラブグリーンフェスティバル
『ジャブジャブ川金魚すくい』(6月8・9日)



わんぱくサムライ体験『流鏝馬体験』(5月25日)

2002年を振り返って④

ときめき大学の夢は大きく膨らむ

『登別市老人大学』から『登別市ときめき大学』と名称を変更し、新入生も95人と大きく勇躍し1年が過ぎた。

2003年は、生涯学習の観点に立って生きがいのある人生観の確立と高齢者相互の親ほくを図り、多彩な能力を生かして地域社会の振興に寄与したい。

それにはまず、何はともあれ学年別の自治会をつくり、自治会が独自に活動を行うシステムにする。自治会は、それまで大学事務局まかせであった活動計画やカリキュラムづくりにも参加し、学習や生活、クラブ活動など、そして会員の親ほく、各種交流、ボランティア活動にも参加する。

また、地域社会に寄与するにあり、特に自分たちの郷土を知り、自分たちがこの郷土で何ができるかを考えることである。自分たち



登別市ときめき大学入学式

の郷土を知らずしてどうして地域の社会に寄与することができるのだろうか。まず、郷土を良く知ることが必要なのである。

ときめき大学の夢は、ますますシャボン玉のように大きく膨らむ。このシャボン玉が弾けないように両手でそつと、そつと後輩に引き渡したい。

(美園町/古瀬幸生さん・69歳・ときめき大学学習委員長)

2002年を振り返って・2003年の抱負

昨年、9月15日から23日まで『登別デンマーク協会』のメンバー15人のデンマーク訪問団に加わり、登別市と友好都市であるデンマークのリンゲ市・ウイスリンゲ市を訪問しました。

訪問中の4日間は、受け入れ先のリンゲ・ウイスリンゲ・登別友好協会の会員宅にホームステイしました。私がステイした家の夫妻は2000年に来登した際、我が家にステイした方でしたので、家族的な雰囲気の中でとても友好的に交流ができました。

滞在中、現地の友好協会には歓迎会をはじめ、教育施設、高齢者施設、登別マリナーパークニクスモデルであるイーエスコウ城、アンデルセン博物館、歴史的に由

緒ある教会など、通常のツアーでは見られない所もたくさん見学させていただきました。

また、過去に我が家にステイした7人の内5人と懐かしい再会を果たすこともできました。

この度の訪問を通して見聞きした施設、文化、生活から、環境に対する配慮、ものを大切にする生活など、環境先進国・福祉先進国・農業先進国のデンマークからは、学ぶべきことが多いと痛感しました。もちろん美しい街並みの景観や、歴史を感じさせる石造りの建造物のすばらしさは、言うまでもありません。

今後もデンマークとの交流がますます盛んになるよう、微力ながら当協会の活動に参画していききたいと思っています。
(若草町/櫻井英雄さん・デンマーク協会)



イーエスコウ城(デンマーク)